

倫理審査委員会議事

1. 日時 平成28年 4月21日(木) 15:30 ~ 15:52
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 薬物依存治療部長(委員長代行)、精神科医師(長嶋先生)、
薬剤科長、事務部長、看護部長、矢崎外部委員、矢崎外部委員
庶務班長(書記) 三好
(欠席) 特命副院長(委員長)

※委員の3分の2以上の出席がありましたので委員会を開催

4. 要旨

- 1) 議題 統合失調症の家族を対象とした集団心理教育の取り組みと、実践の評価(仮) ~ 主観的困難度・負担調査票を用いた分析

申請者

○ 倫理審査申請書に沿って説明。

委員

○ 倫理的に危うそうな所はどこでしょうか。

申請者

○ 家族の方が、入院で企画しているものなので、治療に反映してしま
うのではないかと、同意ができなかった時に、そういった心配が持たれ
られるのではないか、治療上関係ないこと説明して、任意で有るこ
とも説明していこうと思います。また、調査票の記入で10分程度か
かりますので、少し時間を有してしまうということが考えられます。

委員

○ 負担が軽減されることが見通しのある数を探るということで承知し
ましたが、どういうふうに負担が軽減されると予想されますか。

申請者

○ 家族心理教育が他の精神科病院でも行われていて、実際に家族の負
担が軽減されることが立証されているのですけれども、家族の方が、
この会に参加することによって、適切な知識とまたグループワークを
行うことで、自分自身(家族自身)が持っている本来の力を引き出す
せるということで、負担が軽減されると考えています。

委員

○ 違った聞き方します。どういう負担がかかっていますか。

申請者

○ 同居されている家族などは、患者につきっきりなことが多かったり
して、家族自身が、患者さんに巻き込まれてしまったりとか、距離が
近いところで、自分の時間が割けなかったり、患者中心の生活になっ
てしまっていて、そこが重荷に感じてしまったりするところがあるのです
が、集団で行うことによって、他の家族の意見を取り入れることで、
もっと自信が持てたりとか、自分の時間を有意義に使えるといったこ
とがありました。

委員

○ 自分の時間を有意義に使う具体的な方法はどのようなものですか。

申請者

○ 今まで心理教育を行ってきて、参加している家族によって違ったり
していますが、今まで家族が、ずっと家にいた時間が多かったのです
が、少し外に出てみようかといった考えが持てたりということがあり
ました。

委員

○ 具体的にはどういう方法で教えたのですが。

申請者

○ 例えば、今までその患者が、家で引きこもりの生活が多かったが、
家族心配して、居ない間に暴れてしまうのではないかと、近所の人

に迷惑をかけてしまうのではないかといったことがあったのですが、本人にこの時間は出かけることを伝えて、実際に出かけてみたりして、そこから段々時間を延ばしたりといったことがありました。

委員
○ ずっとやっていることを研究したいということでアンケートを取るということによろしいでしょうか。

申請者
○ はい。

委員
○ 家族会自体が患者の家族の負担をおそらく取るであろうということ は分かりましたが、この結果が出たら、やり方などパターン化したものを どういう形で報告するのでしょうか

申請者
○ 当院で3年前に初めて統合失調症を対象とした家族の心理教育を始めて、私たちも3年間の中で、色々マニュアルを変えてみたり、試行錯誤して変えてきたりしてきましたが、実際に家族に対して、のっとたものになっているのか検証をしたくて、その結果が出たときには、私たちのやり方というか、家族相談会としての会が成り立っていることを証明できる、病院として大々的に大きものにしていきたいので、結果として出していきたいと思います。

委員
○ 今やっていることで、それをやる前と後とでアンケートを取って比較するということですね。ということは3年間やっているわけですから、その前でアンケート取っているということですか。

申請者
○ これから参加してくれた家族に同意が取れた家族を対象にこの研究を進めていくものです。

委員
○ 対象者の30名程度の人数の設定根拠は。

申請者
○ 大体今までの経過を見ると、家族会が月に1回行って、5回を1クールとして計算して、2年間の研究期間で計画を立てているので、大体4クールになる計算です。1クールに参加される家族が5名から8名程度なのでそれを計算して30名程度になります。

委員
○ 30名の妥当性はどういうふうに出てきたのですか。

申請者
○ 30名に設定しなければいけない理由はないです。

委員
○ 30名の人数を設定したから 30年まで研究しましょうかとしたのか、それとも30年迄行うと決めた理由のどちらが先なのですか。

申請者
○ 期間を設定して、1年分の件数が少ないと思ったので、参加する時によって人数のバラツキがあるので、人数が少なくなってしまうと、研究の信憑性に影響するので、大体参加される人数で出したのが30名程度になっています。

委員
○ 説明書をもって説明をしながら、アンケートを対象の者に渡すのですか

申請者
○ そうです。

委員
○ このアンケート調査は最近作ったのですか。

申請者
○ 前からこの研究に合わせて作りました。

委員
○ 10番の「精神的な病気と聞いて動揺している」について、家族教

室への参加の前後に回答を取ったら、新鮮度が全然違うというのが研究する前から分かりきっているので、ちょっと聞き方変えてみた方がよいものもありかもしれません。

【審査結果】

- 1) 議題 統合失調症の家族を対象とした集団心理教育の取り組みと、実践の評価（仮）～主観的困難度・負担調査票を用いた分析承認してよろしいか。
→アンケート内容を再検討（見直し・修正）することを以て承認とする。検討結果について、看護部長並びに外部委員の確認を要する。

以 上